

資料

地域包括ケア市民フォーラム ～おうちっていいよね～

病気や障害があったとしても住み慣れた「我が家で」暮らすための仕組みがあります。どんなことが出来るのか、元気なうちから聞きにきませんか？

～「地域包括ケアについて」～

○「地域包括ケアについて」
気仙沼市保健福祉部高齢介護課 課長 高橋 美奈 氏

～「各機関の取り組みについて」～

○「地域包括ケアにおける気仙沼市立病院の役割」
気仙沼市立病院 副院長 横田 実一 氏

○「おうちで暮らし続けられるように
～定期巡回・随時対応型訪問介護看護という選択～」
春園苑24時間ヘルパーステーション 課長 大内 雅子 氏

～おうちで在宅介護を体験して～

○ 在宅介護を体験したご家族 2名

○ 福祉用具（介護用品）の展示 感動 有隣会社ホロス

日時：平成29年11月25日（土）13:30～15:30
場所：気仙沼プラザホテル（気仙沼市柏崎1-1）
参加費：無料 定員：200名
申込み：裏面様式で11月15日（木）までお申し込み下さい。当日参加も受け付けます。
・申込み多数の場合は抽選で順次の方に選ばれる場合があります。
問合せ：0226-22-6661（宮城県気仙沼保健福祉事務所）
0226-22-0842（気仙沼地区地域医療委員会）

主催：気仙沼地区地域医療委員会（協力：気仙沼市立病院福祉健康委員会）
共催：宮城県気仙沼保健福祉事務所、気仙沼市、第三種町、気仙沼市医師会、気仙沼歯科医師会、気仙沼市社会福祉協議会、第三種町社会福祉協議会、気仙沼市内家政士会、菖浦地区アコミセンター、気仙沼市立病院、気仙沼保健福祉事務所、気仙沼地区地域医療委員会
後援：株式会社三陸新報社、株式会社リニア風景

地域包括ケア市民フォーラム ～おうちっていいよね～

病気や障害あったとしても住み慣れた「我が家で」暮らすための仕組みがあります。どんなことが出来るのか、元気なうちから聞きにきませんか？

～「回復期リハビリテーション病棟について」～

○「住民同士の支え合いについて」
社会福祉法人気仙沼社会福祉協議会地域福祉課
課長 鈴木 美紀 氏
社会福祉法人気仙沼社会福祉協議会支え合い推進委員会
委員 齋藤 寛重 氏
新町なかよし会 会長 鈴木 直枝 氏

○「在宅介護を体験して」

佐々木 秀雄 氏
母と子コミュニティー広報「ふみりあ」代表
佐藤 結里 氏

福祉用具の展示 協力：株式会社コンポートケア
安楽補助食品等の試食 協力：株式会社クリニコ、株式会社大塚製薬
株式会社明治

日時：平成30年11月17日（土）13:30～15:30
場所：気仙沼プラザホテル（気仙沼市柏崎1-1）
参加費：無料 定員：200名
申込み：裏面様式で11月7日（木）までお申し込み下さい。当日参加も受け付けます。
・申込み多数の場合は抽選で順次の方に選ばれる場合があります。
問合せ：0226-22-6661（宮城県気仙沼保健福祉事務所）
0226-22-0842（気仙沼地区地域医療委員会）

主催：宮城県気仙沼保健福祉事務所、気仙沼市、第三種町、気仙沼市医師会、気仙沼歯科医師会、気仙沼市社会福祉協議会、第三種町社会福祉協議会、気仙沼市内家政士会、菖浦地区アコミセンター、気仙沼市立病院、菖浦地区保健福祉会議、気仙沼地区地域医療委員会
後援：株式会社三陸新報社、株式会社リニア風景

地域包括ケア 市民フォーラム ～おうちって、いいよね！～

病気や障がいがあったとしても住み慣れた「我が家で」暮らすためには、お互いの気遣いや手助けが大切です。地域で楽しく暮らすコツをご紹介します。

【話題提供】
石川 尚美氏（オストミー協会宮城支部副会長）
「人工肛門生活で突然困ったときの対処法」
佐藤 夏江氏
「盲導犬と歩んで二十年」
小林 朝美氏（一般社団法人コ・エル副代表理事）
「高次脳機能障害と共に気仙沼で生きていくために」
後藤 淳子氏
「認知症の家族を介護して」

【交流タイム】 障害福祉サービス事業所の紹介ならびに物品販売

【講話】
齊藤 稔吾氏（気仙沼市立本吉病院 院長）
「みんな違ってみんないいを実現するために」

裏面様式で11月20日（水）までお申し込み下さい。
当日参加も受け付けます。
※他の高齢者の方の講話は別途付いた方に調整下さい。予めご了承下さい。

令和元年11月30日（土）13:30～15:30
気仙沼プラザホテル（気仙沼市柏崎1-1）

問合せ：
0226-22-6614（宮城県気仙沼保健福祉事務所）
0226-22-0842（気仙沼地区地域医療委員会）

主催：宮城県気仙沼保健福祉事務所、気仙沼市、第三種町、気仙沼市医師会、気仙沼歯科医師会、気仙沼市社会福祉協議会、第三種町社会福祉協議会、気仙沼市内家政士会、菖浦地区アコミセンター、気仙沼市立病院、菖浦地区保健福祉会議、気仙沼地区地域医療委員会
後援：株式会社三陸新報社、株式会社リニア風景